



●ワラサは3~4キロを中心に5キロ級も釣れる



●時はいつくるかわからないから辛抱強く釣り続けよう



●この時期はやっぱりワラサが釣れてほしい



●赤と青を両方手にできればうれしい



●2.5キロのマダイ。このほか0.5~1キロ級も釣れる



▲大アジが入れ食いになる時間帯も

▶コマセはオキアミ、コマセカゴはLサイズでオモリ80号



▲カイワリも釣れた



▲ハリスは6~8号6メートルのワラサ用が標準



▲エサのオキアミは1匹付けが基本

三浦半島剣崎のワラサに復調の兆しが見られ始めた。釣り場は開幕時と同様に下浦沖で、ワラサはトップ2~3本と数はのびていないが3~5キロ級の良型主体。これに4~5キロ級の大ダイも交じってくるというのだから、考えようによってはワラサが入れ食いになるよりもうれしい。ポイントやタナも同様で、ハリス6~8号6メートル前後の仕掛けでワラサもタイも食ってくるからワラサ五目といった様相だ。好不調の波はあるだろうが、しばらくは赤と青の共演を楽しめるだろう。(詳細は60ページ参照)



●三浦半島剣崎松輪港・伝五郎丸 鈴木 長喜船長

WARASA

◎復調



三浦半島剣崎松輪港出船 三浦半島下浦沖のワラサ復調 大ダイも連発!

撮影◎粕川 晃



▲ハリスをたぐったときに走らなければマダイの可能性大

●当日のマダイは最大4キロ。5キロ級も上がっている



◎連発 MADAI



▲ある程度ドラッグを効かせてヤリトリしよう

●一時期不調だったワラサがここへきて復活の兆し

▲釣り場は下浦沖の水深40メートル前後



▲この日のタナは海面から35メートルほど



▲当日の釣り場は江ノ島沖の水深70メートル前後



●平均サイズは30センチ前後



●いい日はトップで5〜6尾釣れることもある

相模湾の秋の定番ターゲット 人気魚アマダイを釣ろう！

相模湾湘南片瀬港出船

撮影●鈴木良和



●アカボウいいるころにアマダイも釣れる



●小型のアラも釣れた



●コンノトコもよく釣れる



●アマダイは秋〜冬の相模湾を代表する人気魚

相模湾のこの時期の定番人気魚といえばアマダイ。湘南片瀬港からの出船では近場の江ノ島沖がメインポイント。目下は水温が高く水深70メートル前後のアマダイとしては比較的浅場を狙っており、いい日は40センチ級も交じって船中オデコなしということもある。取材日はあいに潮が流れず食い渋ったが、シーズンは来春までのロングラン、今後の好転に期待したい。
(詳細は62ページ参照)



●誘うか待つかがなかなか悩ましい

▲片テンピンの2本バリが定番仕掛け。オモリは道糸の太さにより60〜80号を使い分ける



●ビギナーからベテランまで人気がある



●相模湾湘南片瀬港・ゆうせい丸 早川 竜洋船長